ブラジル朝日新聞
(舊日伯新聞)
伯國聖市マエストロ カルヂン街一一〇九
發行所 ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミルレス 外國郵税共百廿ミルレス

世界新秩序進軍譜

スターリンの音頭取で 日・獨・伊・ソ四ケ國會議

報知新聞の報道、世界を衝撃

(東京十六日同盟) 米UP所報、報知新聞の所報によればソ聯政府スターリン書記長は日獨伊三ケ國を招致モスクワにおいてソ聯をも加へた四ケ國會議を開催、現國際情勢に對しソ聯の政策を決定しようと傳へてゐる (カットはスターリン)

【東京十六日同盟】米UP日本側諸筋の目的は世界新秩序建設についてクワのクレムリン宮において四ケ國間で協議するにあるところによれば、ソ聯リン書記長は自らソ聯の意圖を發表するものと思はれる、なほ右報道は報知新聞によって發表されたが、同紙は日本官邊は既に右ソ聯の意圖について情報を入手した旨確報してゐる

日ソ不可侵條約 可能性俄に濃化

建川新大使活躍せん

【東京十六日】米UP所報、【獨伊ソ四ケ國會議をモスクワ】より少々遅れるが、スターリン書記長は日獨伊ソ四ケ國會議を招致、モロトフ外相と相談の上建川新大使の到着を待つて直ちにクレムリン宮に開催の決定を見たといはれる、なほ同報によればスターリン自身が進んでソ聯の國策を決定すべく發言するなどソ聯外交史上稀有のことに屬するとし、同會議の結果直ちに日獨伊ソ四ケ國の提携が實現するか否かは斷言できぬと付加へてゐる

四國會議提唱は 英國側に大打撃

【東京十六日】米UP所報、【獨伊ソ四ケ國會議提案は英】を落胆せしめようといはれてゐるが、當地ソ聯筋ならびに外交界では何ら右會議に關する確報は得られない、但しかゝる報道によつても日ソ不可侵條約締結の可能性が濃化した事實を示唆するものと觀られる

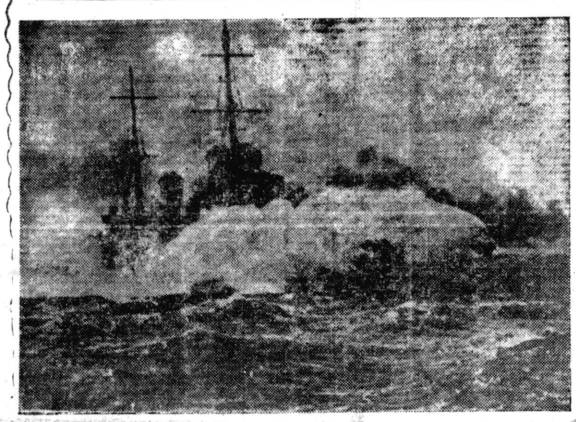
【ロンドン十六日】米UP所報、ロンドン外交界では日ソ不可侵條約の締結は頗る可能性ありと見てをり、これは專ら

傳統の腕前見よ 英、伊艦隊を撃沈

地中海上の大決戰

【ロンドン十五日佛日】ルーター通信の報道によれば英巡洋艦アジャックス(七千トン六吋砲八門裝備)はイタリア艦隊と遭遇し、その驅逐艦二隻を撃沈、一隻を大破せしめた由である、この海戦は去る十二日シシリー島附近の海上で行はれたもので、右につきイギリス海軍當局は左のごとく發表した

地中海東南部海上に作戦中の巡洋艦アジャックスは去る十二日シシリー島の東南約八十浬の洋上においてイタリア驅逐艦三隻と交戦、その二隻を撃沈せり



なほ英地中海艦隊司令官は左のごとき報告を海軍省に寄せる

伯林官邊は否定

【ベルリン十六日】米UP所報、ドイツ官邊では報知新聞所報の四ケ國會議に關しては何ら聞知せぬ旨發表してゐる

米大統領選擧の現勢 【下】

政治の更新を希望

獨伊側はウ氏當選を策動

兩候補の弱點は

「これでもか〜」と並べ立てる

効能書の宣傳洪水の逆を行つて兩候補の弱點を列擧してみる

ルーズヴエルト氏

一、アメリカ政界の傳統に背いて第三期大統領を目ざして出馬したこと

二、しかも黨大統領候補を指名する民主黨大會のその日まで、出馬するのかせぬのか指名を受諾するのか、せぬのか一切發表せず、立候補の野心を持つてゐた連中を牽制し、前二回の選擧戰に參謀長として采配を揮つた民主黨全國委員長ファーリー郵政長官を補佐し、ニューディール政策の腹心ホプキンス商務長官を大會に派遣して直通電話で連絡をとり、ホプキンスとシカゴ市長クリーとの工作お手盛り三期要請運動で大會を風靡せしめ、これに御大が「未曾有の國際時局に全國の輿望もだし難く」と筋書通りの指名受諾擧明を行つたといふ餘りに露骨な樂屋裏のカラクリが暴露して戴き者の憤慨を買つたこと

三、副大統領候補にニューディール反對のガーナー現副大統領)を排し、黨領袖の不滿を無視してブレーン・トラストの一人たるニューディール農業政策のウオーレス(農務長官)を指名したこの結果ガーナー、ファーレー、スミス、チャドウイック(全米郷軍會長)パーク(上院議員)その他

ウイルキー氏

一、電力會社の顧問弁護士から社長になつたといふ以外に政治家としての經驗皆無

二、「ウオール街の代弁」に對する勤勞階級や農民の反感

三、ニューディールの弊を攻撃するがこれに代るべき具體的方策になると大工業の地方分散程度の單純な策を暴露するだけで何一つ發表しない

四、共和黨大會でタフト、デューイの再候補の勢力ほど伯中してデッドロックに達着した結果ダークホースのウイルキーが漸く七回目に至つて指名決定されたため、大資本側の潤澤な軍資金の援助言論機關の支持(全米の新聞の八十パーセントまでウイルキーを應援してゐる)などはあるが熱烈な擧黨的支持を缺いてゐる

五、獨伊がウイルキーの當選を望んで秘かに運動してゐるといふ風説(完)

トピック解剖

日本が蘭印に求むるもの

蘭領印度に使した小林代表以下の努力は昨今漸く原則的協調の段階にまで達したかに傳へられてゐる、そこで一應日本が何を一體蘭印に求めてゐるかを明かにしておかう

本年六月廿八日外務省情報部長談話に表明された、對蘭印貿易增進に關する基本方針によれば「……蘭印産物資のうち、わが國の必要とするもの、例へば石油、ゴム、錫、ボーキサイト、ニッケル鑛、クローム鐵鑛など……」とある、これは日本と蘭印との貿易、蘭印における邦人企業、蘭印への邦人入國などの諸問題につき、蘭印當局およびフランスの駐日公使へ申入れたる日本側の要望であつて、結局彼我當局の間には、日本が必要として輸入せんとする蘭印産物資の對日輸出については、フランス本國政府も蘭印總督府も何ら制限的措置をとらぬと約束し、日本からその新たなる增進と企業および人國の問題についても至急、適當の措置をとられたいと申入れたのであつた、その結果、小林商相が國務大臣としての身をもつて、わざ〜蘭印現地まで乘り込んで交渉に當つてゐるのである、オランダ側はすべてに現狀維持を希望し、日本側はなほ一層の增進展開を希求した所に、時勢に對する對應の差があるといはねばならぬ、しかも時勢はフンク獨經濟相の主張するごとく、日本をして極東經濟圏の指導者たらしめねば止まぬ、即ち、小林商相が首尾よく日本の希求する所を達成せんことを祈る所以である

印度の解放 果して成るか

前大戦當時その自由を歌かれた印度民衆は爾來廿年間イギリスの統治に絶對不服從であつた、その間たゞイギリス官憲の機關銃と爆彈の前に服從して來たのである、さらに印度民衆の回教派と國民會議派との非協調が著しい弱點となつて、その希求する獨立自由が今日にいたるまで拒まれて來たのである、しかるに今次歐洲動亂の勃發によつて、印度民衆の獨立運動は燎原の火の如き勢を示し來つた、國民會議派は回教徒派との摩擦を克服して戦線を統一し、歩調を一にして不服從運動をさらに高度に展開した、本年三月一日のパトナ會議はイギリス政府の對獨宣戦を否認し、亜洲戦爭不介入を決議した、十九日ラムガール大會においては對英不服從運動即時實行が絶叫され、四月六日には會議派左翼のボースが國民闘爭週間を開始した、その十八日には遂に全印にわたつて不服從運動が展開された、不服從運動こそは、武器なき印度人にとり、英國の印度統治に對する一切の協力を拒否する印度人の唯一の反英武器なのである、ボース派の闘爭開始は直ちに壓壓され、その派の數百名はボースとゝもに投獄の憂目にあつた、しかして今やガンヂー翁の蹶起を見るにいたり、印度民衆の不服從運動は實に翁の言の如く「最後の段階」にまで昂揚されたのである、現下世界の客觀的情勢と對應して、印度民衆解放の聖業果して成るや否や

獨機英京全市覆ひ またも爆彈の洗禮

惡天候下に一千の大編隊

【ロンドン十六日】AP所報 十六日午後七時三十分獨爆撃機編隊は再び惡天候を冒しロンドン上空に現れ全市にわたり爆彈の雨を降らせた、一方英軍の地上砲火も敢然これに應酬した、又他の一隊は英本土南岸一帯を襲つたが、前夜の爆撃に比し損害は比較的輕微であつた

【ロンドン十六日】UP所報 去る十五日夜の獨機ロンドン爆撃は熾烈を極めドイツ側發表によると總數一千台で一千トンの爆彈を投下したと報じてるが、一方英側では同夜のヴァプール、スコットランドを襲つた爆彈も二百トンを投下したに過ぎないとしてゐる、他の獨機爆撃編隊は英南海岸一帯及び南部ウエールズ地方、リ

復讐の英空軍 獨領各地を猛爆

【ロンドン十六日】UP所報 夜來の惡天候にも拘らず英空軍はドイツ軍占領地域の軍事施設、ドイツ本土中西部各都市を猛撃多大の損害を與へたドイツ本土北岸の軍事施設を襲つた英爆撃機は軍需工場、燃料貯藏庫、鐵道、港灣施設を粉砕した

英軍一日の戰費 なんと九百万磅

追加豫算更に十億ポンド

【ロンドン十六日英ルーター】万磅の增加である、右は十六日下院における追加戦時豫算審議にあたつて、キングスレー・ウッド藏相の發表したものであり、同藏相はさらに最近四週間の英軍戦費總計は週平均六千四百萬磅に達したと説明した結果、將來さらに增加すべきことを豫想して全額十億磅の追加豫算が承認されたものである

國民の食糧は 不自由させぬ

英食糧相言明

【ロンドン十六日英ルーター】英食糧相は國民に對する食糧供給について政府は万全の策を講じつゝある旨言明したが、さらに質においては低下を見るかも知れぬが量においては決して不自由させないと斷言した

沙漠の漂泊人 英軍隊と衝突

聖地に又も血の雨

【アンゴラ(トルコ)十五日獨TO】シリアよりの報道によれば、先週トランスジョルダンのマール南方においてイギリス軍隊とベドキン人との間に猛烈な爭鬪が行はれた由である、最初イギリス警官隊がベヅイン人に襲撃されたに對し、トランスジョルダン首府アマンの英官憲は直ちに飛行機六台を出動せしめベドキン人部落を猛爆してこれに大損害を與へた、この事件はアラビア人の對英反抗をさらに熾烈ならしめるものとして注目される

英側の勝利確信 南米へ經濟進出

英經濟使節出立を前に豪語

【ロンドン十六日英ルーター】イギリスの對ラテンアメリカ諸國派遣經濟使節團長ウイリングドン卿は出發に先立ちルーター通信記者に對し左の如く語つて使節團の目的を明かにした

使節團の目的は長年にわたり緊密友好の關係を持續し來つた南米諸國との關係をさらに緊密ならしめんとするにある、アメリカ政府は南米諸國に最も厚意を有するものであるが、これまた本使節團の使命をよく了解し助力してくれる筈である英獨爭鬪の結果については勝利が英國にあることを確信してゐる、南米諸國との通商調整は必ず成果を收め得ると信じてゐる、各國を歴訪してあらゆる難問題を解決して來るつもりであるが、本使節團の目的はむしろ調整にあつて直接取引交渉ではない、最初はリオ・デ・ジャネイロに赴きそれから各國へ足をのばすつもりだ、まづ四ケ月位はかゝるだらう

なほウイリングドン卿は英國本日イノヌ、トルコ大統領はイーデン陸相は近東英軍司令官及アーチボルト・ワーヴエル將軍と會見、さらに駐屯英軍其他各部隊を巡閲する豫定

【ロンドン十六日】ルーター、本日當地では陸相アントニー・イーデンが本日朝エジプトに到着したと傳へられた

【アテネ十五日TO】カイロ

全アラブ族を糾合 反英運動前觸れか

埃及國王、アラビア特使と密約

糾合に關するものゝ如くである、他方イブン・アサドはまた、トランスヨルダンのエミール

トルコ大統領 ソ聯大使と密談

【アンカラ十六日】米AP、ソ聯駐土大使セルゲイ・アレキサンドロヴイツチ・ヴイノグラドフを引見、トルコ軍事首脳部幕僚席の下に長時間にわたり何事か協議するところあつた、トルコ外務省はその内容につき語るを避けてゐるがソ聯、トルコ相互援助に關する取極めにつき協議されたものと取沙汰されてゐる

國外に出るな

兵役適齢者に禁足

【ワシントン十六日】米國政府は今回廿一歳から卅五歳にいたる兵役年齢にある國民は國務省の特別許可なき限り國外に出ることを禁止するに決したと傳へられてゐる、なほ一般臨民に對しても西半球以外の地へ旅行を制限すべき方法につき考慮中である

大統領の北伯視察

ヴアルガス大統領の北伯視察によつて、同地方は俄然國内はもとより國内の注目まで惹くにいたつた、今回の大統領北伯訪問の目的は單に一片の民情視察に非ずして、大統領の演說中にもあるごとく、世界の寶庫といはれるアマゾナス地方の經濟的發展の可能性を實地踏査するにあつた模様である

そも〳〵アマゾン河流域は廣域廣大、その中を南米の地中海といはれる大アマゾン河が悠々と流れ、その支流は縱横に通じて舟運の便はかり知れず、その眠れる無盡藏の資源はたゞ伯國人の開發の手を待つのみとなつてゐる、勿論歷代の伯國政府も同地方開發には心を用ひ、ゴムがなほ南洋にその地位を奪はれざる時代には、世界唯一のゴム供給地として素晴しい繁榮を謳ふた時代もあつたのである、さらに遡つて伯國開發の初期植民時代には、現在の南伯よりもいはゆる北伯方面が、遙かにその繁榮を謳つたことは歷史の示すところである

かゝる歷史あり、資源豊かだと折紙を付けられた大地域を開却し、忘却の淵に置き去ることは、大伯國として到底許さるべきではあるまい、今回のヴアルガス大統領の視察の意義はこゝに存し、眠れるアマゾナスの資源開發に一歩を染めたものとして意義深いものがあらう、ヴアルガス大統領はアマゾナス地方開發について、まづ衛生施設と植民事業の二つを先決條件として述べてゐるが、これは頗る妥當だといへよう、同地方が決して一般の想像するごとく、白人には到底住み得ぬ炎熱の地に非ずして、頗る健康地であることは歐米專門學者の既に定說となつてゐる、また現住伯國人の繁殖率の高いことに見ても、この事實は裏書きされるのであるが、なほ未開拓の地には風土病もあり、これに對する衛生施設は緊急不可缺だと見られる

次いで大統領は同地方の經濟開發につき述べてゐるが、元來アマゾナス地方はゴム、パラ栗、良質の木材等の特產物が現存し、ジュタその他有用纖維栽培も頗る有望であるほか、新に開發さるべき資源は殆んど無盡藏だといはれてゐる、かゝる資源の開發に對し大統領はまづ同地方の工業發展を提唱し計畫してゐるのは蓋し先見の明ありといふべきであらう、ゴムのごとき現地においてこれが工業化が計られゝば、ゴム植林は一大促進を見、その利益は測り知れぬものがあらう

なほヴアルガス大統領はアマゾン流域諸國會議を提唱、各國のアマゾン溪谷開發の協力を要望せることは、汎米主義精神の昂揚であり、早くも關係國側の共鳴を獲ち得てゐることは、現下の情勢から見て頗る心强いものがあると申せよう

「再開・ビルマルートを覗く」
ボロ自動車を動員
蔣、物資運搬に血眼
一ヶ年三千トンが精一杯

ビルマ
インド洋
ラングーン
ラシオ
ビルマ公路
ヒマラヤ山脈
ヒマラヤ
ヒマラヤ山脈
ヒマラヤ山脈
ヒマラヤ山脈

持ち込む邦品の山 二題

通商宣傳隊

中南米巡回旅商團
リオで展示會 來る廿四日サンパウロへ

我が對南米諸政策の重大項目である「日伯貿易の促進」に寄せる母國朝野の關心は近年日を追ふて高潮し、經濟使節の來伯、展示會の開催となり母國有力貿易商は爭つて市場調査、販路擴張に乘り出すなど兩國貿易戰線は果然活氣を帶びて來たが既報の如く名古屋中南米巡廻日本品展示會の旅商團一行は目下亞國ブエノス市で展示會を開催中で來る二十日頃先發隊として團員のうちから二名が空路ブエノスよりリオへ到着の豫定である

一行は▽名古屋中南米輸出組合長谷田良吉▽合名會社杉本商店早川敏兒▽愛產織布社山本隆▽日本硝子新海徹の諸氏で、それに指導員として名古屋產業部貿易課長林貞氏が顧長格で世話を燒いてゐる、聖市には二十四日、リオには三十一日一同揃つて訪れるが一行の豫定によると伯國に於ける展示會はリオのみで聖市では行はず、聖市、レシフエ、ベレン等は商況視察のみに止める由

展示商品の內容は△名古屋中南米輸出組合の陶磁器、雜貨△合名會社杉本商店の綿織物綿雜貨、人絹、絹織物△愛產織布社の毛織物△日本硝子株式會社の高壓並に低壓硝子、硝酸機械、濾過器、點火栓（自動車用）などの莫大な邦品を擁する今まで類のない大掛りな日本品宣傳班で、宣傳班の最大目標であるブラジルに全力を擧げて邦品の宣傳を行ふことになつてゐる由で、展示する見本五箱は日本から直航でリオに到着してゐるなほリオ市における展示會の場所は先方ではホテル・グロリヤを指定して來てゐるが、商務官始めリオ市關係者はパラセ・ホテル又は日伯商業會議所內にしたい希望で目下の處は確定してゐない

國際見本市へ
ぶらじる丸で百八十箱

既報、リオ市主催の國際見本市に出品する日本側の見本は綿織布社の毛織物△日本硝子株式會社の高壓並に低壓硝子、硝酸機械、濾過器、點火栓（自動車用）などの莫大な邦品を擁する今までに類のない大掛りな日本品宣傳班で、宣傳班の最大目標であるブラジルに全力を擧げて邦品の宣傳を行ふことになつてゐる由で、展示する見本五箱は日本から直航

空に轟く禮砲の中……
ゴーエス參謀總長 ニューヨーク到着

マーシャル米陸軍參謀總長の招請を受けて渡米したブラジル陸軍參謀總長ゴーエス・モンテーロ將軍は去る十五日アルゼンチン陸軍參謀總長と共にニューヨークに到着した、アメリカ陸軍では十七發の禮砲を放つて伯亞二將軍の到着を祝した、ゴーエス參謀總長はルイス・カンブトン米陸軍でワシントンに向つたが、ワシントン驛ではカーロス・ソウザル陸軍參謀總長ゴーエス・モンテーロ將軍は去る十五日アルゼンチン陸軍參謀總長と共にニューヨークに到着した、アメリカ陸軍では十七發の禮砲を放つて伯亞二將軍の到着を祝した、ゴーエス參謀總長はルイス・カンブトン米陸軍でワシントンに向つたが、ワシントン驛ではカーロス・ソウザル陸軍參謀總長ゴーエス・モンテーロ將軍は記者團に再度アメリカを訪問することが出來て非常に滿足だと語つてゐた（寫眞大佐に伴はれ直ちに汽車でゴーエス將軍）

また圓紙幣の闇……發覺
上衣に縫ひ込んだ九百圓！
奧ソロから歸つた某邦人

日本へ歸國の場合二百圓以上の圓紙幣の持參を嚴禁されてゐるに拘らず禁を犯す國賊行爲は後を絕たず、二、三日前も神戶稅關より總領事館への通知によると、ソロカバナ線ブ・ブルデンテ驛在住某は八月十七日神戶へ到着したが、その際超過額九百圓を上衣のうち側に縫ひつけて隱匿してゐたことが發覺し五百圓は沒收されてしまつた

絕えない國賊行爲

なほ神戶稅關では今後はこの種の國賊行爲をなす者は紙幣を沒收するほか何らかの方法で嚴罰に處することになつた

コント・デ・ビガリオ 空を飛ぶ！
引つ掛つたガリンペイロ

ゴヤスからぽつと出の金剛石達はこれから聖市へ飛行機で行くが生憎五ミル札ばかりでこつ貯めた廿五コントの大金を持つてゐるが、と新聞包みを出して見せ、これでは滿張つて目方もあり飛行機會社がいやがると奧の手出すと、そこは純朴なマンガベイラどん、氣の毒な、そんなら俺のコント札と取り替つこすべえとマンマと惡漢に引つかゝつて、開けてみたら古新聞紙であつた彼はお決まりの警察へ訴へ出て縷々陳情したのが、この話可哀相にガリンペーロ、マンガベイラどん稼ぎ貯めた廿コントもリオへ來たばかりに夢と消えてしまつた

廿一日頃に雷雨！
栗原自然科學研究所の嬉しいお託宣

こんどの旱魃は太陽の黑點の減少だらうと都會も農村も安心を仰いで怨んでゐるが、カンポス・ド・ジョルドンにある栗原自然科學研究所の發表によると太陽面のほゞ中央北半球に赤道に近く肉眼で見える樣な大黑點が出現して居り、その他數多の黑點群が太陽面上に大活動をして居ると、なほ二十一日前後に雷雨が豫想されると喜ばしいお託宣であるが、この雷雨に伴つて降へらがあるかも知れませんから蔬菜、果樹、園藝家は御用心下さいとある

チエテの輪禍事件
負傷者四名退院

既報、去る三日午後二時チエテ移住地ノーボ・オリエンテ橋手前州道路上で乘合自動車と乘用車が正面衝突し即死一名、負傷四名を出したが、チエテ病院に入院中の負傷者は全部この程退院した

リオ市水曜會の歡送迎會

去る十六日夜リオ・デ・ジャネイロ日本クラブで水曜會主催の重廣海軍武官、佐藤日史外交官補の歡迎會に兼ねて來る廿日ベノス經由でボリビヤ首府ラパス市に赴任する入江一清通譯官の送別會が催された

なほ佐藤外交官補は駐英帝國大使館よりボルトガルの公使館を經て約三ケ月以前リオに轉任した人である

長期航

◎…けふ十九日は護國の英靈を祭る靖國神社大祭で總領事館はお休みである

◎…新聞宣傳院では去る十五日の會議に於いて多數の新聞、雜誌の登錄を許可したが、その中に「文化」及び學生聯盟の機關誌「過渡期」があつた

◎…去る十七日バルパライゾおよびツツパンにある邦人小學校が、秘密裡に日本語教授をしてゐたため閉鎖を命ぜられた

◎…久しく伯語學校が教師の不足で閉鎖狀態になつてゐたチエテ移住地アレグレ區では西、東のアレグレ分離が聞ふ滿ふに話し合ひが出來舊校舍を西アレグレ地區內ノ！ボ・パライゾ寄りに建てる事になり將來州立小學校の申請をなす手筈をきめて着々準備中の由

◎…バストス移住地の顏役佐藤さん、帽子を新調しようとしたが何しろ同氏の頭は六四番といふ超特作で聖市の主な帽子店にはそんな大きな帽子はなく帽子工場にも問合せたがストックもないといふ話——結局工場へ特別製のものを注文する事になつた……と

◎…チャプリンが泣かず飛ばずでデッチ上げた大作、「獨裁者」が紐育で封切り、チャプリンは例の得意そのままでと總統に珍優ジャックオーキーがムソリニ御大で活躍、割れるやうな大人氣だつた

◎…こんどの旱魃で悲鳴をあげたトレスバラスでは水道水源池を擴張することになり調査中であつたが結局中央區赤木氏シヤカラ內の湧水を現在の水槽に押し上げて使ふことになつた

◎…これもトレスバラスのニュース——ジヤンガーダ區小學校では今度女教師アントニア・テオドラ・フアリアさんを迎へ十月一日から授業を開始、二十五名の兒童たちは鞄をかかへて嬉々として通學してゐる

◎…ルーズヴエルト大統領に對抗立候補したウエンデル・ウイルキーは獨逸系第三世だとの噂があるが、獨系市民は全部ウイルキーに投票しようとの噂さ專ら

讀者の心配欄

何んでも御質問 即座に解決

◇質問歡迎◇

何んでも聞きたいことがあつたらどし〳〵質問して下さい、解答致します

內容が知りたい
外國人團體と內國人團體

（質問）二、三日前の新聞を見ますと外國人團體登錄を申請した日本人會がまだゴタ〳〵してますが、外國人團體と內國人團體との內容のちがひはどうなつてをりますか

ノロエステ線青木生

（解答）木下辯護士の解答を御傳へします

十月三日の官報によると外國人團體と內國人團體の內容について次の樣に發表してをります

一、文化事業（藝術美術等）、共濟事業、スポーツを目的とする團體は內國人團體、外國人團體に區別する

二、外國人團體は次の樣な內容を持つものである

外國人團體の場合

A、名稱…外國語の名稱（特に國籍）

B、會員全部が外國人で、ブラジル人が會員となることが出來ぬこと

C、司法省に登記する事

D、聯邦法一九三八年四月十八日付法令第三八三號第二條の規定に違反せぬ事、即ち伯國で政治運動にたずさわらぬ事

E、外國の團體又は大、公使館と連絡を持たぬ事

F、解散の場合その財產は伯國內の內國團體又は外國人團體に附與する事

內國人團體の場合

A、ブラジル語をもつてその名稱とする、但し司法省の認可のあつた場合はその限りではない

B、その會員の大部分が伯國人である事

C、役員の大部分が伯國人であり重要なる地位（會長）は生來の伯國人又は歸化人に與へる事

D、會の目的は伯國の方針に違反せぬ事（外國人團體が內國化した場合は定款にそれを明らかに記入する事

E、國籍、人種、色、宗教又は或る一定の政黨に優先權を與へぬ事

F、解散の場合はその財產を內國團體に附與する事

60年間に……
聖州へ流れ込むラテン民族
百七十五萬五千人
旱魃を逃れて北伯人の移住も激增

聖州への歐洲移民の狀勢が數字的に明示されたのはざつと二八七五年頃からで、そこでその年からの記錄をもとにして勘定して見ると

ポルトガル人が一五〇、〇五八人、スペイン人が一七七、八三六人と、イタリアが減つてポルトガルと大差なく、スペインが

（殖えて）ゐる、一九一五年から三九年までの二十年間にはブラジル人の移住が一躍六八二、二八六人に激增、これに反してイタリア移民は一擧に一〇四、三四九人に減少、ポルトガル移民一七〇、八四一人、スペイン移民九七、五七〇人を示しスペイン人の減少が目立つてゐる、ブラジル人の移住が激增したことは全く經濟的原因によるもので、一つは北伯の旱魃が原因し、他の一つはサンパウロの勞力不足に基くものといふことが出來る、結局サンパウロ州はその發展に伴つて勞力不足を補ふべく一八七五年から三九年までの六十年間に、ラテン系の血液を合計一、七五五、五二五人だけ移入したことになつてゐる、その他ブラジル人の移住を合せると二、四七二、三三八人が移入されたわけで一九三九年末州總人口推定七百三十萬人とすればその約二四%にあたつてゐる、六十年間の移入內譯は左の通り

ブラジル人	七、六六二、八二三
イタリア人	四、三、四六九
ポルトガル人	八七、〇七八
スペイン人	一、七五五、三三五
計	

（經濟的）

日本の海運に就いて……
宮腰さん龍土會で講演

聖市龍土會では明十九日午後八時より日本倶樂部で例會を催すことになつたが、今回は宮腰千葉太氏の「日本の海運に就いて」と題する講演があり、學生諸君、一般人の來聽を歡迎すると

市況

（十七日）

	安値	高値
▼アローズ		
アグーリヤ上	六五、〇〇〇	六六、〇〇〇
ブランコ中	五五、〇〇〇	五六、〇〇〇
ブランコ下	四四、〇〇〇	四八、〇〇〇
▼カフエイジョン		
ムラチーニョ上	七四、〇〇〇	七五、〇〇〇
〃 中	七四、〇〇〇	七五、〇〇〇
〃 下	七四、〇〇〇	七五、〇〇〇
▼ミーリヤ		
アレーリヤ	一〇、三〇〇	一〇、四〇〇
アマレロン	一〇、八〇〇	一〇、〇〇〇
▼クリスタル		
▼バタタ		
アマレーラ上	八、〇〇〇	八四、〇〇〇
ブランコ中	三、〇〇〇	三、三〇〇
▼マニヂカ粉	三、〇〇〇	三、三〇〇
▼モナ	—	六〇〇
▼棉實	三、〇〇〇	三、一〇〇
▼アドジイン上	一七、五〇〇	一八、〇〇〇
▼セボーラ	—	—
▼砂糖	—	—
▼棉花 特上	七、四〇〇	七、〇〇〇
上	六、五〇〇	六、六〇〇
中	六、〇〇〇	六、四〇〇
下	五、〇〇〇	五、四〇〇
▼小麥粉	—	—
▼珈琲	—	—
	四二、五〇〇	四三、〇〇〇

今井齒科醫院 ノロエステ カフエランヂア

讓店 バーバステラリヤ パウリスタ線ピラスヌンガ市 詳細問合せは左記へ Bar Fukayama Est. Pirassununga - C. P.

Confeitaria Viennense R. B. de Itapetininga, 239 Phone 4-9230 各種菓子類販賣 ▶特にプラリネス、マルジパン◀ 喫茶室に於ては毎日優秀オーケストラ演奏、優雅で家庭的な雰圍氣を誇り居ります

貸シチオ ▼中央線イタケーラ町に近い二域半、水量多く家屋、ランショ其他付、どんな栽培にも適す優秀地果樹植付濟 ▼エルドラード（コンセイソン・ジヤバクアラン）のライチ會社新設溜池の近く九域半、ランショ、カピンザルマツト、水量多し 申込契約は左記地主へ Escritorio Bancario R.11 de Agosto, 166 1a. sobl.

急募 青年、二、三名 仕事は簡易、希望者は左記へ面談の上 サントス市マルシアル・ベーゴ・ジュニオール街一六 遠木

Dra. G. Calasans Cirurgião Dentista 中央メルカード前 Rua da Mooca, 2228

齒科 荻原 リア・セーレス二六

急募 職人及び見習 人を歩合で傭ひ度し 配達人 チンツラリア カーザ・イーリス 聖市ジアガリ・ベ街二七二 電話五・三八七九

讓バール カフエ、ビリアール、レストラン、病氣の爲讓り度し シネ・モデルノ及グルーポ前、顧客多し Rua da Mooca

急募 裁縫見習生 二名 但し年齢廿歳位迄、住込みの人に限る 委細面談のこと 聖市サン・ジョアキン街四七 鈴木洋裁所

公認 齒科技工一般 堀定之 マリリア市アベニーダ リオブランコ二九四

洋裁專修部 ◇女學部 ◇家庭科 ◇葡語部 サンパウロ女學院 院長 赤間みち へ Rua São Joaquim, 216 C. Postal, 4430 - Tel. 7-7845 São Paulo

Cine Santa Helena 今日の映畫 - Praça da Se - ◆HOMENS SEM ALMA パートン・マツクレイン主演 コロムビア映畫14才以下入場禁止 Ufa Jornal, 470 Luce Jornal, 117 最も新しい大戰＝ニュース 午后一時五十分より連續上映 寄2$600, 1$000, 夜2$500, 1$500

Dr. Fasnaldo Rossi R. Luzitana, 1152 Campinas 診療時間 午前九時至十時 午后二時至五時半 一般外科 骨折 骨結核、關節炎 整骨

Dr. H. Fenicio Av. S. João 536-6 and. Te. 4-1183 淋病 如何なる淋病も五日で完全治癒 北米式ケタリング法（洗滌注射を用ひず） 康價

急募 大工さん數名 詳細は面談 聖市コンデ・デ・サルゼーダス街九一番 電話一＝五九五六 小村忠吉

……なか靜館旅御……

歸國手續及御病人の御世話致します 新潟旅館 聖市コンデ・デ・サルゼーダス一五番 電話二＝七三〇八番

大阪商船會社切符取次所 和歌山旅館 館主 佐野光一

新生社職業紹介所 所主 竹村之虎 R. Cons. Furtado, 273 S. Paulo 聖市コンセレイロ・フルタード街273 電話 2＝8349

元外交員 鈴木一男 右之者九月三十日限り退社今後本社と一切關係無之此段御廣告候也 商工業者之友社

開業廣告 一、一般機械類設計製圖及製作 一、蒸氣機關據付修理及改造 一、船舶用工業用 一、吸水及水揚ポムプ類修理 一、活動寫眞機 一、印刷機械 一、タイプライター修理 一、ミシン類 一、農業用機械器具及建築金具新製修理 マリ、アンサン・ルイス街五四五 オフイシナ中平內 三浦勇 郵圖二〇六 電話三一九

●旋盤工經驗者一名至急募集 履歷書御送付又は御來談

Redacção e Administração:
Rua Maestro Cardim, 1109
Teleph.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
SÃO PAULO-BRASIL

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN

DIRECTOR: *José Yamashiro*

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL { Anno . . . . 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno . . 120$000
ANNUNCIOS — Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios em folha

Anno I | São Paulo — 6.a feira, 18 de Outubro de 1940 | Num. 73

NOTAS E EDITORIAES

Pela viagem do Presidente Getulio Vargas ao Norte, aquella região despertou a attenção da opinião publica, não só do paiz como até do extrangeiro. A visita do Presidente Vargas não visa apenas conhecer as condições de vida do povo daquella parte do Brasil, mas, conforme o Chefe da Nação salientou em seus discursos, estudar "in loco" as possibilidades economicas da Amazonia, considerada verdadeiro deposito de riqueza mundial.

A bacia amazonica, região vastissima, percorrida pelo Rio Mar, considerado por muitos como sendo o Mediterraneo da America do Sul, possue muita facilidade de communicação, graças aos innumeros afluentes do grande rio brasileiro. O thesouro inexplorado que ainda dorme no solo amazonico aguarda a mão do obreiro nacional para o seu devido aproveitamento.

Naturalmente todos os governos da Republica se interessaram pelo desenvolvimento da região, e, antes que as regiões dos mares do Sul occupassem hegemonia na producção de borracha, a Amazonia era a unica região productora desse artigo, realizando por isso, uma prosperidade deslumbrante. E se retrocedermos á época da colonização, a historia nos ensina que o Norte prosperou mais do que o Sul.

O Brasil não poderia esquecer uma vasta região tão rica e que possue um passado tão brilhante. O significado da viagem do Presidente Vargas, reside neste ponto. Ella significa o inicio da obra de exploração do thesouro escondido na Amazonia. O presidente Vargas, falando do desenvolvimento daquella região, declarou que a melhoria das condições sanitarias e a colonização constituem condições primordiaes para aquelle objectivo.

A região amazonica não é tão quente a ponto de ser inhabitavel aos brancos, pelo contrario goza de um clima relativamente salubre, conforme opinam os estudiosos europeus e americanos. Confirma esta opinião a alta natalidade observada na população local. Entretanto, existem ainda endemias, que devem ser debelladas por meio de instituições sanitarias adequadas.

O sr. Presidente da Republica falou a seguir sobre o aproveitamento economico da região. Originariamente a Amazonia produzia borracha, castanha do Pará, madeiras de lei e considera-se muito promettedora a cultura da juta e outras materias fibrosas.

Disse que a sua riqueza é praticamente inexgotavel. O Chefe do Governo, numa previsão intelligentissima, preconiza o desenvolvimento industrial da região para a sua exploração. A borracha, pela sua industrialização, terá augmentada sua cultura, trazendo em consequencia a prosperidade da região productora.

O Presidente Vargas propoz, ainda, a realização de uma conferencia dos paizes limitrophes da região amazonica, para uma cooperação intima na exploração daquella região.

Mais uma vez o espirito panamericanista foi posto em evidencia pelo Chefe do Governo Brasileiro e sua proposta teve repercussão favoravel em toda a America. O accordo commercial brasileiro-argentino recentemente concluido e esta nova proposição do Governo Brasileiro demonstram a contade que anima os dirigentes da Nação em cooperar e collaborar intimamente com as nações americanas. Esta orientação governamental — seja-nos permittido dizel-o — é das mais sabias, especialmente levando em consideração a situação actual do mundo.

***

Partiu hontem desta capital, com destino á "Fazenda Amarella", no municipio de Appareccida do Norte, o sr. general Mauricio Cardoso, commandante da Segunda Região Militar, acompanhado de seu Estado Maior, para participar das grandes manobras militares do Exercito Brasileiro no valle do Parahyba.

***

O Conselho Nacional de Imprensa, reunido a 15 do corrente, sob a presidencia do sr Lourival Fontes, director-geral do D. I. P. concedeu registro, entre outras publicações, á "Revista de Cultura Litteraria" (de diffusão da lingua portugueza na colonia nipponica) e á "Transição" (orgam nippo-brasileiro, editado em portuguez), ambos editados nesta capital.

***

Chegarão amanhã, pelo primeiro avião da "Vasp", a esta capital os srs. tenente-coronel Kôko e capitão de Fragata Shiguehiro, respectivamente, addido militar e addido naval á embaixada do Nippon no Rio de Janeiro.

A viagem de Ss. Ss. é de caracter particular.

O discurso do primeiro ministro na sessão inaugural da Assembléa Nacional Pró-Politica Imperial

Tokyo, 12 (D.) — Revestidas de grande solennidade foram realizadas hoje na residencia official do principe Konoye, chefe do governo, as ceremonias inauguraes da Assembléa Nacional Pró-Politica Imperial.

Abrindo a sessão, o primeiro ministro pronunciou uma breve saudação, salientando que a missão suprema da nova entidade que acabava de fundar é cooperar decisivamente na execução dos planos visados pelo novo orgão politico.

No referido discurso, o principe Konoye, delineou em traços breves, mas seguros, a nova organização governamental que dirigirá o Imperio neste momento de alta tensão mundial.

Em synthese foi a seguinte a oração do chefe do governo japonez:

"Neste momento de emergencia sem precedentes, o Japão deve marchar firme na instituição da nova ordem mundial, cooperando estreitamente com as potencias vizinhas e cumprindo fielmente as suas obrigações para com as nações da triplice alliança.

O governo, considerando a situação internacional, está concentrando suas actividades no refortalecimento da defesa nacional.

Esta aspiração nacional poderá ser alcançada somente pela estricta cooperação de todo o povo e renovação radical de todos os systemas economicos e politicos.

Nós, os membros componentes do novo governo, estamos profundamente sensibilizados pelo apoio unanime de toda a nação, na fundação da nova ordem politica no paiz.

Constitue, outrosim, motivo de grande jubilo, a fundação da Assembléa Nacional Pró-Politica Imperial, instituida em perfeita conformidade com a incomparavel estructura do Imperio Japonez.

E' fora de qualquer duvida que neste momento gravissimo, até mesmo comparavel á época da restauração de Meiji, que atravessa o Japão, todas as actividades nacionaes, devem ser transformadas, collocando os interesses do paiz na primeira plana.

A nova Assembléa Pró-Politica Imperial que visa realizar profunda transformação no paiz, decidirá o destino da nossa Patria."

COMMENTARIO DO "Japan Times" sobre a attitude Yankee

TOKYO, 11 — Accusando os Estados Unidos pela sua attitude para com o Oriente, o "Japan Times", no seu artigo de fundo, salienta que o objectivo dos americanos, no actual conflicto europeu, é o de procurar angariar sympathias para a causa democratica e de não contrariar os amigos com os quaes actualmente conta. Mas que, prosegue, ao mesmo tempo em que desenvolve esse trabalho, multiplica seus esforços no sentido de provocar dissensões com o Japão; que esses esforços foram caracterizados na sua politica de apoio a Chungking, politica que está sendo proseguida, deliberadamente, pelas auctoridades americanas; que essas auctoridades, depois de terem dado aviso aos seus subditos para deixarem o Oriente, tentaram diminuir os effeitos causados pela sua attitude, servindo-se da declaração attribuida ao sr. Sayre, alto commissario "yankee" nas Filippinas, de que não existia razão para ansiedade entre os americanos naquellas ilhas.

O mesmo jornal diz que a alliança tri-partite constituiu uma fórma de defesa contra a aggressão.

Tecidos de algodão japonezes procurados em Sidney

Tokyo, 13 (D.) — Informa-se que chegou a uma firma de Osaka uma communicação de Sidney, segundo a qual naquella cidade havia uma grande procura de tecidos de algodão japonezes, principalmente de algodão synthetico. Consta ser uma das principaes condições, o pagamento adiantado. Diz ainda a noticia que esses tecidos serão destinados á fabricação de saccos para o acondicionamento de trigo a ser exportado para a Inglaterra.

S. M. O IMPERADOR recebeu o general Kunizaki

Tokyo, 13 (D.) — O general Kunizaki que se distinguira pelos seus brilhantes feitos nas luctas do norte da Manchuria, fez hoje, uma visita ao Palacio Imperial.

Recebido por S. M. o Imperador, relatou a actuação das suas forças naquellas regiões.

S. M. o Imperador teve palavras elogiosas para com os feitos do illustre cabo de guerra, tendo o presenteado com valiosos presentes.

Arabia e Turquia, promissores mercados japonezes

Declaração do ministro Kumabe

Mogi (Nippon), 10 — Após rapida parada neste porto, dirigiram-se hoje para Kobe, a bordo do "Kitirin Maru", moderno paquete da Linha Manchukuo-Japão, os srs. Tôneri Kumabe, ministro plenipotenciario do Japão acreditado junto ao governo de Irak, e Saburo Kato, conselheiro da embaixada nipponica em Angorá.

Entrevistado por representantes da imprensa, o ministro Kumabe disse entre outras coisas, o seguinte:

"Desde a Grande Guerra, os paizes da Asia Menor têm como preoccupação maxima a reconquista da autonomia politica, visto que a quasi totalidade das nações do Oriente Proximo, constitue protectorado das potencias européas.

Em Irak, cerca de vinte japonezes dedicam-se ao commercio e os artigos nipponicos occupam o primeiro logar na importação com cifra approximada de 2 500 mil yens.

Em nossa opinião, julgamos que a Arabia e a Turquia são promissores mercados para o Japão".

Impressos?
Procure a typographia
NIPPAK-SHA
C. P. 375 — Teleph. 7-3325

O noticiario telegraphico publicado pelo "ERASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

O fundamento cultural do povo japonez

Nyozekan Hasegawa

13

Como o systema social evoluiu, nossa belança economica apresentou disturbios; porém o facto de até somente meio seculo atrás a melhor arte ser a reciada e gozada pelos cultos e incultos, era inteiramente devida a esse bem equilibrado systema social. Artezãos e trabalhadores mostraram um elevado senso esthetico. Seria injustificavel esperar que as linhas de Sir Henry Irving fossem imitadas por um trabalhador nas ruas de Londres. No Japão, comtudo, não é fóra do commum o ouvir, da bocca dum simples operario, linhas dos melhores actores, na sua exacta entoação e articulações originaes. E' isto devido ao facto de, em ultima analyse, a mais elevada das nossas artes ser plebéa? Ou é porque a mais fina de nossa arte provem do povo? A questão fica á espera de vossa resposta.

E' de observação que o nosso povo em geral, — e não apenas os artistas profissionaes, — possue uma disposição artistica. Nenhum povo, acredito, exige tanto a arte na vida familiar de todos os dias como nós. A ceremonia-do-chá e o arranjo-das-flores, são parte necessarias da perfeição de todas as mulheres das classes média e superior. Em outras palavras, nós cuidamos em crear arte mesmo nos aspectos não artisticos da vida.

O *cha-no-yu* é, realmente, o modo, a maneira de beber-chá de todos os dias convertida em uma arte. Nestas condições, é uma arte da plebe. O espirito da arte do *cha-no-yu* pode ser resumido como sendo a purificação da vida quotidiana, e os seus requisitos são a simplicidade, a serenidade, a calma (socego) e o asseio. Comquanto possa parecer um systema de comportamento (N. do T. — Procedimento, *behaviour* dos psychologos) bastante convencional e muito rigidamente atado por regras para ser chamado arte, ella conduz a um estado de verdadeira liberdade e evasão da rotina commum da vida.

O *cha-no-yu* é, em ultima analyse, uma arte que retem a liberdade da vida diaria dentro dum systema rigido de movimentos fixos para ser consummada, como uma arte, somente quando a independencia da vida quotidiana for recuperada pela completa rapidez das regras.

Tambem os esportes puramente japonezes se converteram em arte. Elles não são nem meros exercicios physicos nem disputas. O verdadeiro esporte japonez é um movimento artistico systematizado, composto de movimentos com bellas curvas. Entre os esportes da Grecia antiga, existiam exercicios esthetics, como por exemplo o arremesso do disco porém elles não podem ser comparados com os esportes japonezes de modo nenhum, desde que os dos ultimos se converteram em uma arte. Nos esportes puramente japonezes, como na dança e no *Nô*, todos os elementos são literalmente artisticos, — costume, linguagem, acção e assim por diante. Isto é ainda verdade nos ramos no atirar flechas, no *yabusame* (lançamento de flechas por sobre o cavallo), e no *kemari* (uma especie de jogo de foot-ball). No Japão antigo a esgrima e outras artes marciaes, eram denominadas *geijutsu*. E' este o equivalente japonez do termo "arte" tanto quando applicado ao drama, á musica, como á dança. O termo *geijutsu* no nosso vocabulario tem precisamente o mesmo significado, porém no vocabulario de nossos mestres era um termo que comprehendia todas as artes marciaes como tambem as artes finas. No Oriente, como está demonstrado no *Raiki*, uma escriptura do confucionismo, a arte, no sentido mais amplo, com rehende a esthetica e a ethica.

(Continua)

As Negociações entre o Nippon e as Indias Hollandezas

Batavia, 13 (D.) — Com a conferencia do dia 12, foi encerrada a quarta semana das negociações economicas entre o Nippon e as Indias Hollandezas.

Segundo opiniões correntes nos circulos auctorizados os representantes dos dois paizes já teriam discutido as ultimas questões.

Outrosim, acredita-se que a conferencia será desenvolvida normalmente, para ultimar os trabalhos. O sr. Kobayashi, chefe da delegação nipponica que se dirigíra para Sapocami por via aerea, no dia 12 regressou a esta capital hoje e assistiu ás reuniões preparatorias dos festejos commemorativos do 26.° centenario da fundação do Japão, promovidas pela associação japoneza desta cidade.

88 dias no Extremo Oriente

XXIX — José Yamashiro

Harbin, 10-5-40.

Segundo parece elles se vestem pelo calendario e não pela temperatura do dia. Sobretudos pesados de lã, luvas, cachenez... tudo como se estivesse fazendo um frio de rachar... Os jornaes da tarde noticiaram que o calor de hoje fôra excepcional: alcançára o record maximo de Maio. (O verão aqui começa em Julho).

Visitamos o Departamento das Estradas de Ferro de Harbin. Um predio muito interessante, construido de pedra verde-escura, extrahida das margens do Sungari. Diz-se que é o unico no genero no Oriente. Recebeu-nos o vice-director, sr. Nomoto, que nos conduziu a uma sala onde havia mappas elucidativos da rede de communicações do norte do Mandchukuo. O Departamento, subordinado ao "Mantetsu", administra todas as ferrovias do norte do Mandchukuo e tambem a navegação fluvial. (Rios Amur, Sungari, Usuri, etc.). Em Harbin juntam-se cinco estradas de ferro. E' um entroncamento ferroviario dos mais importantes do paiz.

x x x

Visita ao monumento dos heroes japonezes (CHUREITÔ). Em todas as cidades da Mandchuria existem monumentos similares.

A Mandchuria toda tem sido campo de batalhas as mais gloriosas para o Japão. Desde a guerra sino-nipponica de 1895 até as recentes guerras da fronteira russo-mandchú, houve uma serie interminavel de luctas sangrentas, ora para salvaguardar a segurança do Imperio, ora para exterminio do banditismo e de bandos communistas, ora ainda, para se defender da invasão sovietica.... Em todos os combates, os soldados de Sua Majestade offereceram corajosamente suas vidas á Patria e ao Throno. Sobre o sacrificio de milhares de seus filhos repousa a segurança do Nippon.

O proprio Mandchukuo deve a sua independencia e a sua actual estabilidade á acção dos soldados do Sol Nascente. Segundo nos declararam varias pessôas desta cidade, os mandchús que comprehendem o papel do Japão no Oriente Asiatico demonstram gratidão pela ordem e disciplina que elle soube introduzir, á custa de muito sacrificio, nestas terras, antigamente theatro de constantes desordens e luctas intestinas. Os russos brancos, expulsos de sua patria, encontraram aqui um abrigo acolhedor. Embora a vida, — sem a protecção da mãe-patria, cujo governo os persegue — não lhes seja muito bôa, encontram a segurança da vida e a liberdade de culto. As igrejas russas de Harbin constituem os poucos refugios espirituaes dos crentes slavos, desde que Kremlin prohibiu todas as religiões ao seu povo.

O monumento dos heroes, de Harbin, é, dizem, o maior de todos da Mandchuria. E' uma torre de cimento armado cuja altura attinge 67 metros. Erigida na planicie, ao norte da cidade, perpetua a memoria dos bravos defensores da patria, indifferente ao frio, ao calor e ao "vento mongol"...

A pequena distancia do "chureitô" existe o cenotaphio dos Seis Heroes (Yokogawa, Oki, Waki, Nakayama, Tamura e Matsusaki), que, na guerra russo-japoneza, penetraram ousadamente na retaguarda inimiga, procurando dynamitar a ponte do Sungari. Foram presos e fuzilados, mas vivem ainda na memoria e gratidão do povo japonez.

Visitamos, após percorrer a avenida Yasukuni, o Templo de Confucio, fundado ha 12 annos. Este templo é consagrado ao culto á memoria do grande sabio chinez e seus principaes discipulos. O portão principal, chamado Taishômon dá entrada ao corpo principal do templo, onde existem os "ihai" de Confuncio e seus quatro maiores discipulos. O telhado está pintado de amarello. Os pavilhões lateraes, consagrados a outros discipulos, possuem telhados verdes. No fundo fica o pavilhão dedicado aos paes do sabio. O Templo de Confucio é visitado por muitos mandchús e japonezes. O colorido vivo dos telhados e das paredes e o indumento multicor dos visitantes dão um aspecto bastante pittoresco ao ambiente.

No cemiterio russo, que em seguida visitámos, encontramos algumas velhas russas, muito encolhidas dentro de suas vestes de inverno. As lapides de marmore são encimadas por anjos de gesso e cruzes. Tal qual como nos nossos cemiterios. Ha tumulos ricos, grandiosos. Inscripções em russo. Flores. Contam-nos que estão sepultados nesta necropole cerca de 35.000 russos. Em frente de alguns tumulos existem bancos de madeira. Explicam-nos que a familia e amigos do morto, após seu sepultamento, se reunem alli, bebem "vodka" e falam delle. Uma maneira interessante de se dizer o ultimo adeus a um ente querido. Entramos na capella. Pequena e simples. Iconos na parede. Um quadro representando a ultima ceia.

Retomamos o nosso "Yuranbus". Passamos pelo Hospital Municipal, o Gymnasio de Harbin e outros estabelecimentos mais ou menos importantes. Fuchiatun, o bairro mais populoso de Harbin é habitado quasi exclusivamente pelos mandchús. Cerca de dois terços da população da cidade habita este bairro, que é, segundo consta, a copia fiel da cidade de Shanghai.

Almoço no "S. M. R. Yacht Club", á beira do rio Sungari. Almoço russo, servido por jovens russas. Todas falam o japonez. Os caravanistas, porém, querem aprender russo (!). Ellas são muito bonitas — e já vimos, na cidade, muitas encantadoras e attrahentes creaturas que falam o idioma de Tolstoi. É, pois, natural que nos interessemos, embora momentaneamente, pelo idioma que ellas falam. Alguns companheiros nossos decoraram com facilidade expressões russas correspondentes a estas: "You are wonderful!" "I love you!" "You are charming!", e quejandas...

Notamos entre as "girls" que nos serviam algumas com feições quasi mongolicas. São filhas de japonez e russa ou russo e japoneza.

Continua